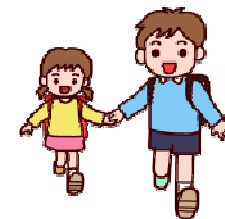


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



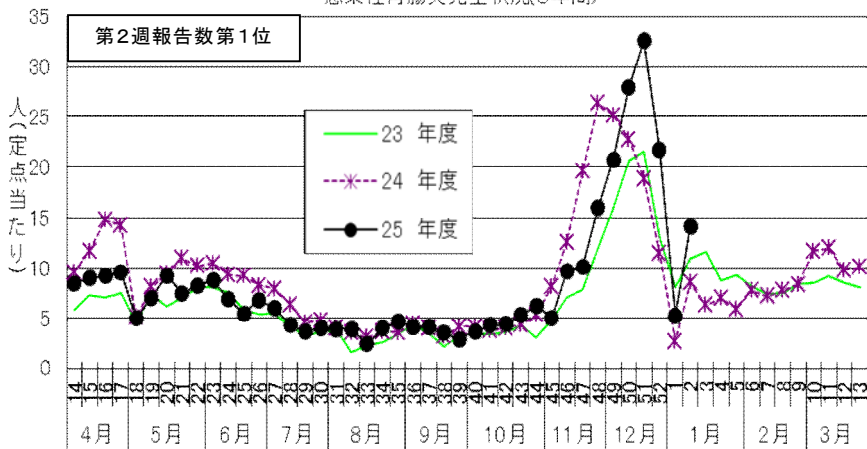
KAWASAKI CITY



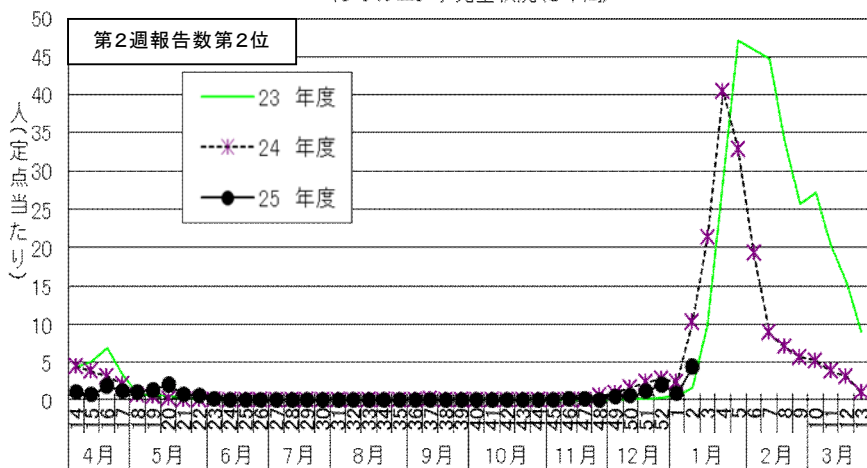
平成26年1月6日（月）～平成26年1月12日（日）〔平成26年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)水痘 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり14.18人と前週（5.23）より患者報告数は大幅に増加しており、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザは定点当たり4.37人と前週（0.84）より患者報告数は大幅に増加していますが、例年より低いレベルで推移しています。
 水痘は定点当たり2.58人と前週（1.15）より患者報告数は増加しており、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)

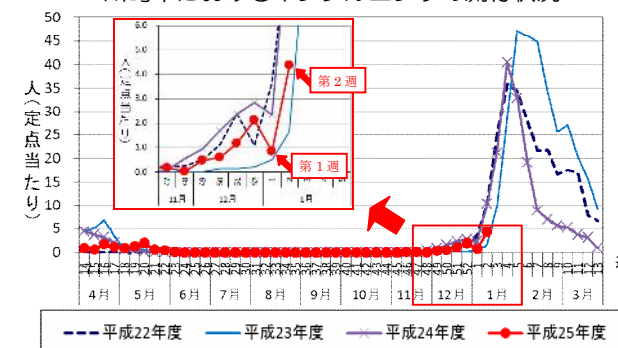


インフルエンザの流行～まん延防止のために～

川崎市において、第2週におけるインフルエンザの患者報告数が大幅に増加しました。例年の傾向から、今後さらに患者報告数が急増することが推測されますので、ご注意ください。

また、インフルエンザは、学校保健安全法により、出席停止期間が規定されている疾患です。

川崎市におけるインフルエンザの流行状況



学校保健安全法での取扱い

インフルエンザは学校保健安全法において、第二種感染症とされています。出席停止期間の基準は次のとおりです。

○発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでない。

<予防と対策>

- 1 手洗いの徹底
- 2 マスクの着用
- 3 ワクチン接種
- 4 適切な湿度
- 5 バランスの取れた食事
- 6 不要な外出を控える